

ムン・ジェイン氏、韓国大統領選に勝利

ポイント① 9年振りの革新系大統領誕生

5月9日に行なわれた韓国大統領選挙では、革新系の「共に民主党」のムン・ジェイン氏が全体の約41%の票を獲得して当選しました。韓国で革新系大統領が誕生するのは、2003～2008年に在任したノ・ムヒョン氏以来です。

今回の大統領選は友人の国政介入疑惑などによるパク・クネ前大統領の罷免に伴うもので、保守系パク政権の批判を強く打ち出したムン氏に対して、中道・保守系政党は候補者を絞り切ることができませんでした。

ただ、ムン氏の得票が過半数を下回った点では、国民の圧倒的支援を得られたとは言い難いでしょう。また、国会では「共に民主党」は過半数の議席を得ておらず、今後の政権運営は簡単ではありません。

ポイント② 外交面の課題

ムン氏は、北朝鮮に対して融和的な姿勢を示しています。北朝鮮のミサイル・核開発などを巡り緊張が高まる中、北朝鮮への対応のみならず、米国、中国、ロシア、日本などの関係各国との関係構築が重要な課題となります。

日本に対しては、従軍慰安婦問題の再交渉を提唱していますが、日本側は拒否の構えです。対日関係悪化と世論の突き上げの両方を回避することに苦慮しそうです。

ポイント③ 経済構造改革に対する不透明感

ただ、韓国の国民の関心は、国内問題にあります。韓国の1人当たりGDP（国内総生産）は他の先進国にひけをとらない水準に上昇しましたが、近年、労働生産性上昇率の鈍化、格差拡大、若年者の失業、家計債務増大などの諸問題に直面し、経済構造改革の必要性が強まっています。

ムン新大統領は財閥改革などで、財閥の影響力を抑える一方、公共部門での雇用創出を目指しています。しかし、こうした政策と、韓国経済の国際競争力維持の両立は容易ではないでしょう。

韓国総合株価指数は米国が北朝鮮との対話の糸口を探っているとの見方などから、5月4日には約6年ぶりに史上最高値を更新しました。ムン大統領就任で韓国が政治的混乱から脱して経済構造改革に弾みがつき、株価のさらなる上昇をもたらすことができるのか、注目されます。

重要
イベント

5月25日 韓国金融政策発表
5月31日 韓国鉱工業生産指数(4月)
6月1日 韓国消費者物価指数、貿易収支(5月)

表1：韓国国会の政党別議席数

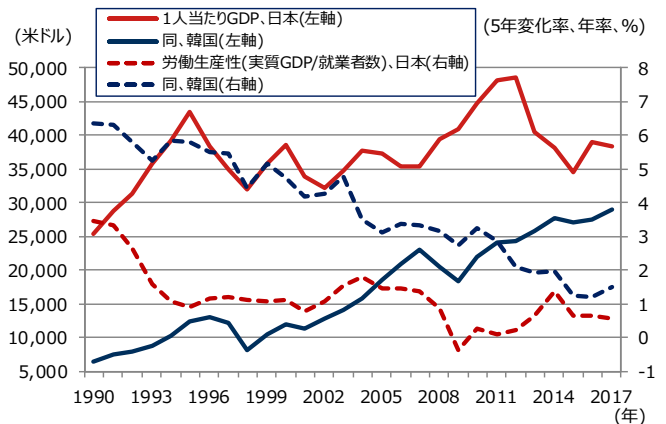
共に民主党	革新系	119
自由韓国党	保守系	94
国民の党	中道系	40
正しい政党	保守系	32
正義党	革新系	6
その他・無所属		8
欠員		1
合計		300

(注)韓国国会：定数300（欠員1）5月9日現在

(出所)各種報道より野村アセットマネジメント作成

図1：韓国と日本の1人当たりGDPと労働生産性上昇率

期間：1990年～2017年、年次

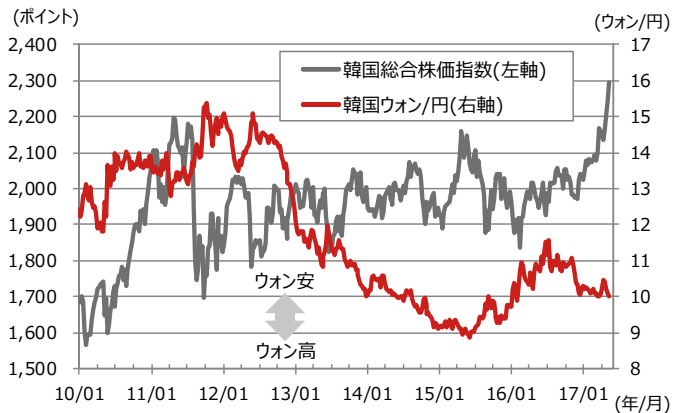


(注)2017年はIMFによる予想

(出所)IMFデータより野村アセットマネジメント作成

図2：韓国総合株価指数と韓国ウォンの対円為替レート

期間：2010年1月1日～2017年5月8日、週次



(出所)Bloombergより野村アセットマネジメント作成

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書（交付目録見書）の内容を必ずご確認ください、ご自身でご判断ください。